



探究科の2年次生が、立命館アジア太平洋大学を訪問しました。

探究科



APUを訪問した探究科の2年次生

探究科の2年次生が11月5日(水)に、大分県別府市にある立命館アジア太平洋大学(以下、「APU」という。)を訪問しました。APUは、約5,000人の学生が在籍する大学で、そのおよそ半数が海外から来日した留学生(APUでは、「国際学生」と呼んでいます。)です。キャンパス内には学生寮もあり、希望すれば国際学生と共同で生活することができます。

APUのキャンパスに到着すると、学生団体であるGASSのみなさんに、出迎えていただきました。GASSは、APUのオープ

ンキャンパスを運営されている団体で、このたびはキャンパスツアーを担当していただきました。キャンパスツアーでは、様々な書籍を閲覧できるAPUライブラリーや大分県産の素材を用いて建設されたグリーンcommonsを見学し、学生のみなさんがレポートの作成などに取り組まれている姿を見ることができました。その後、様々な国の食事が提供されているカフェテリアで昼食を取りました。メニューには、ハラル表示があるなど、留学生が多い大学であることを実感させるものでした。

昼食の後は、課題研究の研究班に分かれて国際学生に英語でフリーインタビューを行いました。生徒は、国際学生が好きな日本食や日本語の単語、母国と日本のアニメやゲームの違いなどを尋ねました。また、神社や温泉に対するイメージ、母国の救急車のサイレン



GASSのみなさんとキャンパスツアー



の音、母国で取り組まれている乾電池のリサイクル方法など、課題研究に関わる質問をした研究班もありました。その後、国際学生と協働して研究班ごとにフリーインタビューの成果をポスターにまとめ、作ったポスターを使って、2分間で発表しました。



カフェテリアで昼食をとる生徒



国際学生にフリーインタビュー

や、「国際学生のみなさんが、ゆっくり話してくれたのでありがたかった。予定していなかった質問もその場で行うことができ、会話がとても楽しかった。」などがありました。初対面の国際学生との会話に不安を感じていた生徒もいたようですが、しっかり活動することができました。



インタビューの成果を英語で発表

1年次生を対象とした、大学セミナーを実施しました。

普通科

探究科

8月18日(月)に、大学に在学している本校の卒業生をお迎えし、1年次生を対象とした大学セミナーを開催しました。このたびは、表に示した大学に在学している卒業生がそれぞれ講座を担当し、1年生は、これらの講座から2つ選んで聴講しました。

それぞれの講座では、大学で学んでいることや、卒業研究の内容、専攻する分野の魅力などを紹介していただきました。さらに、サークル活動やアルバイトなど、大学生活で新たに始めたこととお話ししていただき、1年次生は興味・関心をもって聞くことができました。講座が終了したのちに生徒が記述した感想には、「医学生生活、やりがいについて学ぶことができ、とても貴重な体験になった。医学科では、毎週テストが行われるなど、学び続けることが大切なので、自分のゴールを見失わず、継続していきたい。」や「将来の職業が決まっていなくても、扱っている分野が広い学部を選ぶと、大学で学びながら自分の将来の夢を次第に固めることができると聞いて、少し安心した。」などがありました。それぞれ、60分間の講座でしたが、これから進路を考える1年生にとって、貴重な機会とすることができました。

開講した講座と担当した卒業生の所属

講座	卒業生の所属	学年
人 文	奈良女子大学生生活環境学部文化情報学科	4
外 国 語	大阪大学外国語学部スペイン語専攻	2
法 学	九州大学法学部法学科	4
経 営・商 学	大阪公立大学商学部商学科	3
国 際	山口大学国際総合科学部国際総合学科	4
農 学	千葉大学園芸学部緑地環境学科	2
化 学	九州大学理学部化学科	3
情報工学	電気通信大学情報理工学部Ⅲ類(理工系)	3
電 気	九州工業大学電気電子工学科	4
医 学	山口大学医学部医学科	2
薬 学	九州大学薬学部創薬科学科	4
教 育 学	島根大学教育学部学校教育課程1類社会科教育専攻	4



化学



人文



経済・経営・商学



情報工学

卒業生が、大学の学びを紹介する

探究科の3年次生や科学部の生徒が、高校生・高専生科学技術チャレンジに出品！

普通科

探究科

探究科の3年次生や科学部の生徒が、第23回高校生・高専生科学技術チャレンジ(以下、「JSEC2025」という。)に課題研究の成果を出品しました。出品した研究班等は、表のとおりで、探究科の3年次生が11作品、科学部が生徒が2作品を出品しました。

朝日新聞などが主催するJSEC2025は、社会が抱える様々な課題や、環境・医療・食料問題ほか地球規模での課題の解決・改善に向け、科学技術の力で挑む次世代人材の育成を目指し、我が国の科学技術水準の向上を図ることを目的とされています。また国際競争力を身につけるために、創設時からアメリカで開催される国際学生科学技術フェアに、毎年日本代表を派遣されています。

このたび出品した13作品は、残念ながら、入賞に届きませんでした。大学入学後も、研究を通して身に付けた課題解決力を生かして、学びを深めていきましょう。

JSEC2025に出品した研究班と研究テーマ等

研究班等	研究テーマ	
探究科3年次	公民1	くずが力づくで冷やしてみた～葛を利用したグリーンカーテンの作製～
	公民2	Let's fly!～緊急着水時の車椅子利用者向け救命胴衣を作る～
	数学1	階段とエレベーターの利便性の比較
	数学2	暗記における匂いが与える効果
	物 理	水中における物体の振り子運動 ～潮流発電の未来を探る～
	化 学	ダイラタンシー流体と擬塑性流体の混合流体の特性について
	生物1	アリどうしが仲良くなるのはアリえるか?!
	生物2	在来種のナメクジと外来種のナメクジの相違点について
	保健体育1	高校生におけるパーソナルスペースについて
	保健体育2	人間が色彩から受ける影響
科学部	家 庭	ベジタブルでサステナブル ～野菜に含まれる界面活性剤及び酵素を利用した食器用洗剤について～
		土を使わない肥料の開発に関する研究
		競技用ロボット「VEX Robotics」を活用したロボット開発について



JSEC2025に出品した探究科の3年次生

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。